

安全についてのお知らせ No.17-02 (リコールではありません)

## 潜在的なACDシステムの緩みについてのお知らせ No.2

先月より、アクアラングのACD(オートクロージャードバイス)が装備されているレギュレーターにおいて以下の現象がお客様より製造元であるアクアラング・フランスに寄せられ皆様にご案内しておりましたが、この度オーバーホールを施す前であるはずのご購入後1年以内の**新品のレギュレーター**においても、“緩みの潜在的な可能性”がある事が製造元の調査で判りました。

つきましては下記に該当する比較的新しい製品につきましても、お買い求めになられた小売店に持ち込みご確認頂くか、もしくは下記の対象製品については弊社での点検を無償で実施させていただきますので、弊社までトラック便の着払いでお送りください。

### 対象出荷期間と製品

日本の弊社から2016年7月1日(金)~2017年7月7日(金)迄に出荷されたCORE,LEGEND全種類の中で**シリアル番号がH043301番以前**の製品。

なお、弊社から2017年7月10日(月)以降に出荷されたものは対象外です。(日本国内にてトルク検査済です。)

\*レギュレーター完備品のみではなくNo.128690 ACDアップグレードキットも対象となります。

#### 報告されている現象

ACDにおいて、①のシャトルバルブが規定トルクで締めつけられていない場合に、それが緩んでしまい③のヨークリテーナーから離れてしまう潜在的な可能性があります。

この状況は、レギュレーターをタンクから取り外す際に、レギュレーターに圧力が残ったまま力ずくで取り外そうとした場合に起こり得る現象です。(レギュレーターをタンクから取り外す際は、完全に残気が無い状態を確認した上で行ってください。)

もし①のシャトルバルブが緩み過ぎてしまった場合には、バルブの種類によってはタンクからのガスの流れを妨げてしまう場合がございますので危険です。

#### 小売店または弊社にて行う作業内容

もし①のシャトルバルブが緩んでしまっている場合は、②のシャトルクラウンと③のヨークリテーナーの間に隙間が発生します。

図Aはシャトルバルブが緩んでいない正常な状態です。一方で図Bはシャトルバルブが緩んでおり、隙間が見えている状態です。✗で記した部分が緩んでいる箇所となります。つきましては、ACD機能が装備されたレギュレーターにおいてその様な隙間が無いかどうかを確認をさせていただきます。

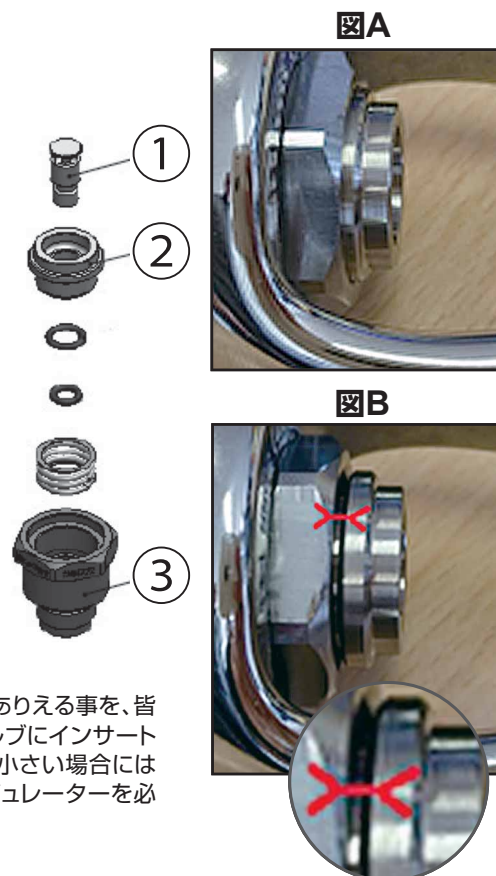
もしも②のシャトルクラウンに隙間を発見した場合は、ACDをレギュレーター本体から一旦とり外した上で、①のシャトルバルブを0.3m.kg(3N.m)の締め付け強度にて再度締め付け直しを行います。

この作業は弊社のメンテナンスマニュアルの手順に従って成される必要があります。

#### 注意!

①のシャトルバルブが緩み過ぎてしまった場合には、ガスの流れを妨げてしまう危険性がありえる事を、皆様へ注意喚起致します。この場合、国ごとで流通しているバルブが異なりますが、DINバルブにインサートが入っているタイプのヨーク用バルブにおいては、そのインサートの六角形が8mmより小さい場合には水中でガス不足になってしまう潜在的な危険性があります。つきましてはお手持ちのレギュレーターを必ずご確認頂けますようお願い申し上げます。

また、日本アクアラング(株)は年一回のオーバーホールを推奨しております。



### 送り先

〒243-0033 神奈川県厚木市温水2229番4

日本アクアラング(株) ACD点検係迄 TEL 046-247-3222

\*弊社へ直接ご返送頂く場合は、ご不都合が無ければ、**佐川急便の着払い**にてお送り頂けましたら幸甚に存じます。

皆様には多大なご迷惑をおかけします事を心より深くお詫び申し上げます。

**※No.1のお知らせも必ずお読み頂き全てのACD付レギュレーターに緩みが無い事をご確認願います。ACD付レギュレーターは緩みの継続的な点検を実施してください。**